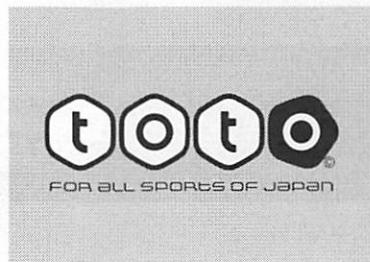


競技別実施要項

スポーツくじ



栃木県民スポーツ大会はスポーツくじの助成を受けて開催しています

水泳競技実施要項

(1) 日程及び会場

期　日	日　程	会　場
10月17日(日)	開 場 8時30分 受 付 8時30分 開 会 式 9時10分 競技開始 9時30分	日環アリーナ栃木 屋内水泳場

(2) 編　成　　市対抗・町対抗とも1種目1人とし、1人2種目以内とする。ただし、リレーは除く。
補欠選手を必要に応じて登録すること。(登録してない選手は出場できません)

(3) 種　目

区　分		自由形	平泳ぎ	背泳ぎ	バタフライ	個人 メドレー	メドレー リレー	フリー/リレー
男子	青年 (31才未満)	100m	100m	100m	100m	200m	200m	200m フリー/リレー(50m×4) (壮年1名以上)
	壮年 (31才以上)	50m	50m	50m	50m	200m	200m	
女子	一 般 女 子	50m	50m	50m	50m			200m フリー/リレー(50m×4)

※ 年齢は、令和3年4月1日現在とする。

(4) 競技方法　ア　市対抗・町対抗とする。

イ　各種目の得点は1位8点、2位7点…7位2点、8位1点とし、その合計得点により市対抗及び町対抗の順位を決定する。なお、合計得点が同点の場合には、リレー種目の得点により決定する。

(5) 規　定　令和3年度公益財団法人日本水泳連盟競技規則による。

(6) 参加資格　ア　市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ　小・中・高校生・学連登録をしている大学生は出場できない。

ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなしう出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く〕

ウ　壮年（31歳以上）の選手は青年（31歳未満）の区分にエントリーすることはできない。

エ　不正行為が認められた場合は、当該種目を失格とする。

(7) 選手変更　ア　申込み締切後の変更は原則として認めない。

ただし、やむを得ない場合は、10月14日（木）までの変更は認める。

イ　リレー種目については、出場選手、補欠選手のみエントリーできる。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(8) 表　彰　ア　市対抗・町対抗ともに、対抗種目の合計得点により第1位の市町には優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。

イ　市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

ウ　個人表彰として、各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

ママさんバレーボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期　日	日　程	会　場
10月17日(日)	集　合　8時30分 開始式　9時00分 競技開始　9時30分	清原体育館(市対抗) アリーナたぬま(町対抗)

(2) 編成及び参加人員

区　分	監　督	副監督	マネージャー	選　手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	1	1	15	18名以内	14チーム	450名
町対抗	1	1	1	15	18名以内	11チーム	

※市町が推薦した既婚の女子で編成されたチームであること。

※監督・副監督・マネージャーも既婚の女子とする。

- (3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし、3セットマッチとする。
イ 3位決定戦は行わない。

- (4) 規　定 ア 「ママさんバレーガイドライン2010」の定める競技規則による。
イ 使用球は4号（12枚貼）白検定球とし、ネットの高さは2.05mとする。
ウ 監督・副監督・マネージャーの胸章をつける。

- (5) 参加資格 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
また、不正行為が認められた場合は失格とする。

- (6) 選手変更 市町大会を開催し代表チームが決定している場合は、予選会後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、市町体育・スポーツ協会は10月13日(水)までに変更を含めた全員を記載した変更届をデータで提出すること。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

- (7) 表　彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。
イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

- (8) その他 ア 使用球は、持ち寄りとする。
イ 登録メンバーのみがベンチ入りできる。
ウ チームのユニフォームは同一のものとする。
(市町名の入っているもの、もしくは市町名を付けたもの)
エ 装飾品は身に付けないこと。

陸上競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 8時30分 競技開始 9時30分	栃木県総合運動公園第2陸上競技場

※ 10月17日が荒天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び種目

市対抗・町対抗とも1人1種目、ただしリレーは除く。

区分		種目	
男子	青年（31才未満）	100m・1500m・5000m 走高跳・砲丸投（5kg）	400m 混合リレー（4×100m） 青年・壮年（A・Bを問わず）から必ず1名以上
	壮年A (31才以上～41才未満)	100m・3000m・走幅跳 砲丸投（5kg）	
	壮年B（41才以上）	100m・1500m 砲丸投（5kg）	
女子	一般女子	100m・1500m・走高跳 走幅跳・砲丸投（2.75kg）	400m リレー（4×100m）
	壮年B（41才以上）	1500m	

※ リレーは、6名連記で申し込むこととし、オーダーは任意とする。

年齢は、令和3年4月1日現在とする。

リレーのオーダー用紙は招集完了時刻1時間前に招集所に提出すること。

(3) 競技方法

ア 市対抗・町対抗とする。

イ 各種目の得点は、1位8点、2位7点…7位2点、8位1点とし、その合計得点により市対抗・町対抗の順位を決定する。なお、合計得点が同点の場合には、1位種目の多い市町を上位とする。

ウ トラック種目は、決勝タイムレースとする。

(4) 規定

ア 令和3年度日本陸上競技連盟規則による。ただし、スパイクのピンの長さは9mm以下とし、走高跳は12mm以下とする。

イ スパイクは平行ピンを使用のこと。

ウ ナンバーカードの大きさは、縦20cm×横24cm以内とし、白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込み締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。
ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は、当該種目を失格とする。

(6) 競技者変更

- 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、**10月7日(木)**までの変更は認めるが、大会当日の選手変更是一切認めない。
選手変更届けにて変更する選手のみを変更する前の選手と同じ番号の欄に記載する。
- ※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、1 2) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表彰

- ア 市対抗・町対抗とともに、対抗種目の合計得点により第1位の市町へ優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗とともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
- ウ 個人表彰として、各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

(8) 競技者の招集について

- ア 競技者は、招集完了時刻5分前までに競技者控所（第4ゲート）に集合し、競技者係の点呼とナンバーカードの確認を受け（最終コール）待機する。
- イ 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、リレーと兼ねて出場するものは、競技者係及び当該審判主任に申し立て了解を受ける。この場合代人を認める。
- ウ 招集におくれた場合は、棄権とみなし出場を許さない。
- エ 招集時刻は下記のとおりとする。時間は競技開始時刻を基準とする。

種 目	ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	決 勝	20分前	10分前
フィールド競技	決 勝	40分前	30分前

軟式野球競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 8時30分 競技開始 9時00分	市対抗: 県総合運動公園(A,B,C) 町対抗: 石井緑地野球場(A,B)
10月24日(日)	集合 8時30分 競技開始 9時00分	県総合運動公園野球場(本球場、A,B,C)

※10月17日が中止の時は、10月24日も中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町村数	計
市対抗	1	19	20名以内	14チーム	500名
町対抗	1	19	20名以内	11チーム	

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし、全試合7回戦とする。
- イ 決勝戦をのぞき試合時間を100分とする。時間内に試合が終了しない場合は、完了した均等回にて勝敗を決する。
- ウ 全試合において試合が同点の場合は延長戦を行わず特別規則（無死1塁2塁とし1イニングを行う。得点の多い方が勝ちで、同点の場合は抽選を行う）を適用し、勝敗を決する。
- エ 5回以降7点差を生じたときは均等回まで実施し、得点差によるコールドゲームとする。
- オ 3位決定戦は行わない。

(4) 規定

- ア 令和3年度公認野球規則及び大会規定（服装規定を除く。ただし、0~99番までの背番号で監督は30番、主将は10番をつける。）を準用する。
- イ 使用球は、公認ケンコーボールM号とし、毎試合2個チーム持ちとする。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前居住地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更 申込み締切後の変更是原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、 10月14日(木)までの変更是認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

ソフトボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月 17日(日)	集合 8時30分 競技開始 9時00分	柳田ソフトボール場(1,2,3,4) 柳田野球場(B,C)
10月 24日(日)	集合 8時30分 競技開始 9時00分	柳田野球場(A,B)

※ 10月17日が中止の時は、10月24日も中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	14	15名以内	14チーム	375名
町対抗	1	14	15名以内	11チーム	

※ 満40才以上(令和3年4月1日現在)の男子で編成する。

監督が選手として出場する場合は、14名の枠で、選手登録をすること。マネージャー1名のベンチ入りを認める(男女どちらでもよいが、選手を兼ねることはできない。なお、チーム編成は15名以内とする)

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし7回戦とする。
ただし、全試合80分を超えて新しいイニシエーションに入らない時間制とし、同点の場合は、抽選とする。
- イ 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合は得点差コールドゲームとする。
- ウ 3位決定戦は行わない。

(4) 規定

- ア 大会規定以外のルールは、令和2年度オフィシャルソフトボールルールを適用する。
- イ 金属性歯スパイクの使用は禁止する。
- ウ ユニフォームは全員同色同型のものを着用し、帽子は必ず着用する。ユニフォームナンバーは1~99番とし、主将は10番、監督は30番をつける。
- エ チームは、試合開始予定時間30分前又は、前の試合4回終了時迄に当該球場に集合のこと。
- オ 試合前のフィルデングは行わない。
- カ 打者、走者、次打者、ベースコーチはヘルメットを着用のこと。捕手は、捕手用防具を完全着用のこと。場内練習時は、最低でもマスクを着用のこと。
- キ 投球距離は14.02mとする。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前居住地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。
ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更 申込み締切後の変更是原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当該チームの大会初戦開始30分前まで(厳守)に変更する選手を含めた参加選手全てを記入した用紙(参加申込書と同書式、市町体育・スポーツ協会長印押印のもの)を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 試合球 ナガセケンコー3号球を各チームは、試合ごと新球2個持ち寄りとする。

(8) 表彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

卓球競技実施要項

1 日程及び会場

期日	日程	会場
10月31日(日)	集合 8時30分 開始式 9時00分 競技開始 9時30分	栃木県南体育館 (メイン・サブ・会議室)

2 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	一般男子 (年齢制限なし) 単1名 一般女子 (年齢制限なし) 単1名 一般女子・壮年女子 複1組 (年齢制限なし・35才以上)	9	13名以内 (予備登録4名含)	14チーム
町対抗	1	壮年A男子 (30才以上) 単1名 壮年B男子 (40才以上) 単1名 一般男子・壮年男子 複1組 (年齢制限なし・35才以上) 高年男子 (50才以上) 単1名 計7組	9	13名以内 (予備登録4名含)	11チーム 325名

※7組揃っていることを原則とし、単・複とも、選手の重複は認めない。なお欠員が生じた場合は、オーダー提出前に必ず相手に通告のこと。年齢は、令和3年4月1日現在とする。

※各チーム男女を含めて選手4名以内で予備登録ができる。

3 競技方法

- (1) 市・町対抗はリーグ戦の後、決勝トーナメントとし予選2位は同一対戦を避ける抽選とする。
- (2) 11本5ゲームマッチとする。
- (3) 3位決定戦は行わない。
- (4) 試合順序は、①一般男子単、②一般女子単、③一般女子・壮年女子複、④壮年A男子単、⑤壮年B男子単、⑥一般男子・壮年男子複、⑦高年男子単の順とし、4試合先取チームを勝ちとする。(年齢の若い種目に出ることは自由) ただし、初戦に限りそのチームの試合は最後まで行う。

4 競技ルール

- (1) 現行日本卓球ルールを準用する。
- (2) 使用球は公認球とする。(40mmホワイトボール使用)
- (3) ゼッケン(姓・市町名、縦18cm、横25cm)を着用する。上3分の2に姓、下3分の1に所属市町名を明記すること。

5 参加資格

- (1) 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締切日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- (2) 小・中・高校生は出場できない。
ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなしう出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
- (3) 不正行為が認められた場合は失格とする。

6 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は当日の受付締切までに全員の氏名を記載した変更届(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。

※ 大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

7 表彰

- (1) 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- (2) 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
- (3) 賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

8 その他

使用球は、県卓球連盟において用意する。

ゲートボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期　　日	日　　程	会　　場
10月17日(日)	集　合 8時00分 開始式 8時30分 競技開始 9時00分	宇都宮市陽南第一公園

※10月17日(日)が荒天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区　　分	監　　督	選　　手	チ　　ム編成	参　　加市町数	計
市対抗	1	8	9名以内	14チーム	225名
町対抗	1	8	9名以内	11チーム	

ア チームは、5名の競技者及び3名以内の交代競技者で構成する。うち1名を主将とする。

イ チームには、専任の監督1名を置くことができる。(選手を兼ねることはできない。)

(3) 競技方法

ア 市対抗・町対抗ともに予選リンクを行い、上位チームにより決勝トーナメントを行う。

イ 3位決定戦は行わない。

(4) 規　　定

ア 競技並びに審判は現行(公財)日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則及び審判実施要領による。

イ 監督及び主将は、定められた表示マークをつけなくてはならない。

ウ 選手は必ずチームで統一したユニホーム(上下)を着用する。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前居住地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、大会当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表　　彰

ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) その他 使用する用具(スティック・ゼッケン)は、持ち寄りとする。

ただし、ゲート・ボールは、大会事務局で用意する。

バドミントン競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 9時00分 開始式 9時30分 競技開始 9時45分	日環アリーナ栃木 (メインアリーナ)

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	一般男子(一般) 複2組 壮年男子(35才以上) 複1組 一般女子(一般) 複1組 壮年女子(35才以上) 又は50才以上の男子との混合	15	16名以内 14チーム	400名
町対抗	1	複1組 計5組	15	16名以内 11チーム	

※ 選手は、ダブルス5組かつ上記選手編成記載の指定通りにそろっていること。

※ 監督は選手を兼ねることができる。

※ オーダーは、エントリー選手の中から選手編成条件に従って組むこと。

※ 年齢は、令和3年4月1日現在とする。

(3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。

イ 3位決定戦は行わない。

ウ 試合順序は、①一般男子②一般男子③壮年女子(又は50才以上の男子との混合)

④壮年男子⑤一般女子の順とし、3試合先取チームを勝ちとする。

また、初戦のみ試合は最後まで行う。

エ ラリーポイント制とし、ポイントは1回戦から決勝戦まで15ポイント(最大20ポイント)とする。

(4) 規定 ア 令和2年度日本バドミントン協会原稿競技規則による。(新ルール:サービス高1.15m固定運用とする)

イ 使用シャトルは、ヨネックス・ニューオフィシャル(温度表示番号4番)とする。

ウ 試合時の服装(色つき着衣可)は、(財)日本バドミントン協会の審査に合格したものとし、背面には市町名(横30cm×縦15cm)のゼッケンを必ず着用のこと。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場すること。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなしう出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]

ウ 各試合前、参加資格が満たされているかどうかを対戦チームとの整列・挨拶時に主審立ち会いの下、相互確認を行う。この時点までに不正行為が認められた選手がいた場合は、そのチームを失格とする。

申込後やむを得ない理由により選手変更が生じた場合は、試合当日朝の代表者会議までに各市町体育・スポーツ協会長印の押印された選手変更届け用紙に記入のうえ、本部へ提出すること。

※大会開催要項、7中央大会の実施方法、12)選手変更を参照のこと。

(7) 表彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町へ優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名とチームを記載した賞状を1枚授与する。

(8) その他 使用シャトルは、ヨネックス・ニューオフィシャル(温度表示番号4番)とし、持ち寄りとする。(1チーム1ダース)

バレーボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月24日(日)	集合 8時15分 開始式 9時00分 競技開始 9時15分	アリーナたぬま(市対抗) 県北体育館(町対抗)

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	コーチ	マネージャー	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	男子	1	1	1	15	18名以内	14チーム
	女子	1	1	1	15	18名以内	14チーム
町対抗	男子	1	1	1	15	18名以内	11チーム
	女子	1	1	1	15	18名以内	11チーム

- (3) 競技方法
- ア 市対抗・町対抗ともにトーナメント方式とし、3セットマッチとする。
 - イ 21ポイント制とする。ただし、市対抗の準決勝・決勝戦及び町対抗以外は、15ポイント制とする。
 - ウ 3位決定戦は行わない。
- (4) 規定
- ア 令和3年度日本バレーボール協会制定9人制競技規則※による。
 - イ 使用球は5号検定球（カラーボール）とし、ネットの高さは男子 2.38m、女子 2.15m とする。
※令和3年使用球:男子 モルテン(V5M5000)、女子 ミカサ(V300W)
 - ウ 監督・コーチ・マネージャー・主将はマークを必ずつけ、チームスタッフは統一された服装であること。(短パン等は不可)
 - エ 選手のユニフォームは同一のものとし、背番号は1~18までの通し番号を原則とする。市町名を必ずつけること。
 - オ 参加チームは、審判員1名を登録すること。また、審判員は選手を兼ねることができる。なお、各参加チームには補助員の協力をお願いします。
- (5) 参加資格
- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込み締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
 - イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く〕
 - ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更
- 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙（市町体育・スポーツ協会長印を押印）を提出したものについては変更を認める。
- ※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。
- (7) 表彰
- ア 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。（競技の総合表彰はしない。）
 - イ 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。
- (8) その他
- 使用球は持ち寄りとする。

バスケットボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 9時00分 競技開始 10時00分	10/17県南体育馆、マルワ・アリーナ栃木
10月24日(日)		10/17, 10/24 雀宮体育馆

(2) 編成及び参加人員

区分		監督	コーチ	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	男子	1	1	12	14名以内	14チーム	700名
	女子	1	1	12	14名以内	14チーム	
町対抗	男子	1	1	12	14名以内	11チーム	700名
	女子	1	1	12	14名以内	11チーム	

(3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とし、競技時間は4ピリオド〔1ピリオド7分〕とする。

[ハーフタイム7分、ピリオド間1分、延長戦は3分間]

イ 3位決定戦は行わない。

(4) 規定 ア 現行日本バスケットボール協会競技規則による。

イ 使用球は、男子公認7号・女子公認6号ボールとする。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙（市町体育・スポーツ協会長印を押印）を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表彰 ア 市対抗・町対抗とともに、男女別に第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。（競技の総合表彰はしない。）

イ 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名チーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) その他 ア 使用球は、持ち寄りとする。

イ ユニフォームについては、番号の小さい方が白、大きい方が濃とし、市町名が入っているものを着用する。

ウ 会場の準備を第1試合と第2試合のチームで行う。

エ 試合終了後の片付けは、最終試合両チームで行うこと、なお、ゴミは各チームで持ち帰る。

オ T・O（オフィシャル）は第1試合を第2試合のチームで行う。なお、前半は番号の若いチーム、後半は番号の大きいチームで行う。第2試合からは、前試合の負けチームで行う。

ソフトテニス競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 8時30分 開始式 9時00分 競技開始 9時30分	栃木県総合運動公園テニスコート

※ 10月17日が雨天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	主務	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	1	一般男子（年齢制限なし）1組	10	14名以内	14チーム
			一般女子（〃）1組 成年男子（35才以上）1組			
町対抗	1	1	成年女子（〃）1組 壮年男子（45才以上）1組 計5組	10	14名以内	11チーム

※ 5組そろっていることを原則とし、年齢は、令和3年4月1日現在とする。

- (3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式または、リーグ戦方式とする。
 イ 3位決定戦は行わない。
 ウ 試合順序は、①一般男子②一般女子③成年男子④成年女子⑤壮年男子の順とする。
 エ トーナメント方式の場合は第1試合を総当たりとし第2試合よりコールドゲームとする。
- (4) 規定 ア (公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。
 イ 使用球は、ケンコーボールとする。
 ウ ユニフォームはテニスの服装で、シューズはテニスシューズを用いること。
 エ はがき大の市町名のマークを左腰につける。
- (5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
 申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
 イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
 また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
 [学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]
 ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。
 対戦毎に出場選手の変更を可能とする。(但し登録選手内に限る)
 大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。
- (7) 表彰 ア 市対抗・町対抗とともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
 イ 市対抗・町対抗とともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
 賞状は、市町名を記載した賞状を1枚授与する。

テニス競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日		日 程			会 場
10月24日(日)	市対抗	受付	8時15分～8時30分		
		監督会議	8時30分		
	町対抗	競技開始	8時45分		
		受付	9時00分～9時15分		
		監督会議	9時15分		
		競技開始	9時30分(予定)		

※10月24日が荒天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選 手		チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	一般男子 (年齢制限なし)	単1組	8	12名以内	14チーム
		一般男子 (年齢制限なし)	複1組			
町対抗	1	壮年男子 (45才以上)	複1組			300名
		一般女子 (年齢制限なし)	単1組			
		一般女子 (年齢制限なし)	複1組	8	12名以内	11チーム
			計5組			

※5組そろっていることを原則とし、単・複とも、選手の重複は認めない。

ただし、試合ごとに補欠及び単複の入れ替えはしてもよい。年齢は、令和3年4月1日現在とする。

(3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。ただし、初戦に限りそのチームの試合は最後まで行う。

イ 試合は、6ゲームズマッチ（6ゲームズオール後、7ポイント先取タイブレーク方式）とし、すべてノーアドバンティージスコアリング方式とする。荒天の場合、試合内容を変更することがある。

ウ 3位決定戦は行わない。日程の関係でコンソレは行わない。

エ 試合順序は、①一般女子複②一般男子複③壮年男子複④一般女子単⑤一般男子単の順とする。

オ 進行状況把握のため、1試合毎、勝者が、本部に報告する。対抗戦最終結果も、速やかに勝者が報告する。

(4) 規 定 ア 日本テニス協会競技規則による。使用球は、日本テニス協会公認ダンロップイエローとする。

イ マーク（市町名）を着用する。（はがき大）・・・所属市町村明確化のため

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更 申込み締切後の変更は、原則として認めない。但し、やむを得ない場合については大会当日の受付〆切までに変更届に市町の会長印を押印の上で、一般男子・女子・ペテラン各1名のみ変更は認める。変更する場合、変更した選手が分かるよう朱書きまたはマーカーし、全選手名を記載したものを提出すること。

(7) 表 彰 ア 市対抗・町対抗とともに、第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗とともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) そ の 他 ア 選手は監督を兼ねることができる。

イ 使用球は、持ち寄りとする（1チーム10個用意のこと）。勝者がニューボール受領（次の試合に）。敗者は、セットボールを受領する。

ウ 所定のオーダー用紙（兼結果報告書）を試合数に応じて、各チームで準備する。

（自チームの控えと相手チーム用の2部作成する。その後、自チーム控え用を本部提出とする。）

サッカー競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 8時30分 競技開始 10時00分	県総合運動公園サッカー場 (市対抗) とちぎフットボールセンター(町対抗)
10月24日(日)	集合 8時30分 競技開始 10時00分	県総合運動公園サッカー場

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	19	20名以内	14チーム	500名
町対抗	1	19	20名以内	11チーム	

(3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし、試合時間は70分(35分ハーフ)とする。ただし、勝敗が決しないときはPK方式により次回進出のチームを決定する。また、決勝戦のみ20分間の延長を行う。それでも決しないときは、PK方式により決定する。

イ 3位決定戦は行わない。

(4) 規定 ア 2020/2021年度日本サッカー協会競技規則による。
イ 試合開始時までに8名以内の交替要員(氏名)を主審に通告しておき、主審の許可を得て自由な交替ができるようにする。(交替して退いた競技者が再び出場できる。交替用紙は不要とする)

ウ 大会中に警告を2度受けた者は、次の1試合は出場できない。

エ 退場処分を受けた者は、それ以後の試合には出場できない。

オ ユニホームは、正、副の2着を用意する。

カ メンバー表を競技開始30分前までに提出のこと。

キ 監督が試合に出場する場合には、選手としても登録すること。

ク 参加チームは2名の帯同審判員(有資格者)を登録し、その者は審判を務める。帯同審判員は、選手を兼ねることができる。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなしう出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日、当該チームの競技開始30分前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(6) 選手変更 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(7) 表彰 ア 使用球(検定球5号球)は、持ち寄りとする。

イ 準備は1試合目のチームが、片づけは最終試合のチームが行う。準備・片づけを放棄した場合には、次年度以降の当該チームの参加を認めない場合がある。

剣道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	集合 9時00分 開始式 9時15分 競技開始 9時30分	ユウケイ武道館 第一道場

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	先鋒(女子) 1名 次鋒(30才未満) 1名 五将(〃) 1名 四将(〃) 1名 三将(30才以上) 1名 副将(〃) 1名 大将(40才以上) 1名 計7名	7	8名以内	14チーム
町対抗	1	先鋒(35才未満) 1名 次鋒(〃) 1名 中堅(35才以上) 1名 副将(〃) 1名 大将(〃) 1名 計5名	5	6名以内	11チーム

※ 同一職種同一企業からの参加は、市対抗・町対抗とも3名以内とし、町対抗は女子も参加できる。

年齢は、令和3年4月1日現在とする。※年齢制限は厳守となります。

- (3) 競技方法 ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。
 イ 3位決定戦は行わない。
 ウ オーダーは、年齢順とする。
 エ 試合時間は4分。勝負のつかない場合は引き分けとする。
 オ 代表戦は監督の抽選による。区分については市対抗の部は、①先鋒(女子)②30才未満③30才以上④大将。町対抗の部は①35才未満②35才以上から代表者を選ぶ。
- (4) 規定 ア 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」による。
 イ 各チームとも紅白の目印(巾5cm、長さ70cm)を用意する。
 ウ 選手は市町名及び姓を明記した名札をつける。
- (5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
 申込み締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前居住地から出場することができる。
 イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
 また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
 [学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]
 ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更 申込み締め切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。
 ※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12 選手変更 を参照のこと。
- (7) 表彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
 イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
 賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。
- (8) その他 オーダー表は持ち寄りとする(オーダー表は、一枠縦26cm、横12cmとし市町名・選手名を入れる。)

柔道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月24日(日)	集合 9時10分 監督・審判会議 9時30分 開始式 9時50分 競技開始 10時00分	ユウケイ武道館 第二道場

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	先鋒(31才未満)1名 次鋒()1名 中堅()1名 副将(31才以上)1名 大将()1名 補欠(31才未満)1名 (31才以上)1名 計7名 ただし、31才以上の者が31才未満のところに出場することは可	7	8名以内	14チーム
町対抗	1		7	8名以内	11チーム

※ 当該年度の国体選手の出場は認めない。選手は男子とし、年齢は令和3年4月1日現在とする。

(3) 規定

- ア 国際柔道連盟(IJF)試合審判規定による。
- イ 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」のテクニカルスコア及び直接もしくは累積による「反則負け」または「指導」の差が2以上をもって勝敗を決定する。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。 30~35cm
- ウ 選手は規定通りのゼッケンを必ず縫い付けること。
無ければ失格とする。(現在使用中のもので可)

(4) 競技方法

- ア 試合時間は3分とする。
- イ 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。
ただし、同点の場合は内容を検討し、なお、内容も同じ時は「引分」の対戦から抽選で代表戦〔ゴールデンスコア方式(2分間)〕を行い必ず勝敗を決定する。
3位決定戦は行わない。



(5) 参加資格

- エ オーダーは、年齢区分ごとに段位の低い者から順に並べるものとする。
試合中負傷などで補欠に交代する時は、段位順は問わない。
- アイ 当該年度、全日本柔道連盟に登録しており、登録メンバーIDを有していること。
市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- ウ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕

(6) 選手変更

- エ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。(選手変更数は補欠を含め3名以内とする。)

(7) オーダー表

- ア ピ B4版の西洋紙2枚を横に1cm重ねで糊付けし6等分に分け、左端に市町名を記載する。
- イ 左端から順に「先」～「大」を上に、その下に出場選手の姓を記入したオーダー表を各市町で持参する。

市	先	次	中	副	大
町	○	○	○	○	○
名	○	○	○	○	○

(8) 表彰

- ア 市・町村抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

弓道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期　日	日　程	会　場
10月17日(日)	集合・開始式 8時30分 競技開始 9時00分	宇都宮市営弓道場(屋外運動場)

(2) 編成及び参加人員

区分	監督・選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	監督1名・選手8名、(内女子1名以上含む) 女子だけの編成も可。補欠登録は4名以内	13名以内 (監1、選8、補4)	14チーム	303名
町対抗	監督1名・選手7名、(内女子1名以上含む) 女子だけの編成も可。補欠登録は3名以内	11名以内 (監1、選7、補3)	11チーム	

年齢区分①青年（35才未満）②壮年（35才以上～65才未満）③高年（65才以上）[2区分以上を満たす]

※ 年齢は、令和3年4月1日現在とする。

(3) 競技方法 近的競技(射距離28m) 鏡的使用(直径36cm)とする。市対抗・町対抗ともに、各自8射とし、的中数により順位を決める。(的中制) 四ツ矢 二回(立射) 競技の間合いとする。

※チーム間での的中数が同数の場合は、各自一射を行射し、的中数により順位を決める。さらに的中数が同じ場合は、一射の行射を繰り返し行う。

(4) 規定 全日本弓道連盟「弓道競技規則」による。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 登録 監督・選手・補欠は所定の申込書にて登録すること。(氏名は楷書で記入する)

監督は選手を兼任できる。(監督は補欠登録外) 登録後の選手の立順変更は認めない。

(7) 選手変更 ア 選手変更は、大会当日監督会議時まで認める。ただし、変更は原則登録した補欠内からとする。

イ 当日、登録チームに緊急を要することで欠員が生じた場合、監督会議にて承認された場合に限り大会に参加できる。ただし、年齢区分・女子選手枠の条件を満たすこと。

(8) 表彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。

(賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。)

ウ 参考記録で参加のチームは表彰の対象外とする。

(9) その他 その他、不測の事態が生じた場合は監督会議にて審議し決定をする。

クレー射撃競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	受付 7時50分 開始式 8時00分 競技開始 8時20分	ニッコー栃木綜合射撃場

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	5	9名以内	14チーム	192名
		3			
町対抗	1	3	6名以内	11チーム	
		2			

※監督は選手を兼ねることができる。

(3) 競技方法 市対抗・町対抗とともに、トラップ・スキートとも1人1回50個撃ちとし、2種目の得点の合計により順位を決定する。

使用銃は12番以下とし、使用散弾はトラップ7.5号、スキート9号以下としグラム数は24gとする。

(4) 規定 日本クレー射撃協会競技規定による。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前居住地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

〔学連（日本学生〇〇連盟）登録者を除く〕

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、市町体育・スポーツ協会は10月13日(水)までに変更を含めた全員を記載した変更届をデータで提出すること。※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表彰

ア 市対抗・町対抗ともに、2種目の合計得点により、第1位の市町に優勝楯（持ちまわり）をそれぞれ授与する。

※ 同点の場合

合計得点が同点の場合は、選手全員の最終ラウンド（2ラウンド目）の合計得点の高いチームを上位とする。更に同点の場合は、各チームのT（トラップ）、S（スキート）の高得点者1名ずつ（計2名）の合計得点の高いチームを上位とする。

イ 市対抗・町対抗ともに、2種目の得点の合計により、第1位から第3位まで賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。（個人表彰はしない）

(8) クレー代 1人 2,800円

(9) その他 参加選手は申込の際に、住所、氏名と使用する銃の所持許可番号・火薬類譲受許可番号・持ち込み装弾の数を必ず記入し、報告すること。選手変更の際も同様に行うこと。

報告用紙は、大会前に各市町の監督にクレー射撃協会から送付する。

ゼッケンを各市町で用意する。（トラップ：白地に黒文字、スキート：白地に赤文字）

例 背面1枚

市町名
2
※ (申込番No.)

ライフル射撃（ビームライフル）競技実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月17日(日)	役員集合 8時30分 監督・選手受付 8時30分～55分 開始式 9時00分～15分 競技開始 9時30分	県立県北体育館

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選手(補欠を含む)	チーム編成	参加市町村数	計
市対抗	1	5(補欠2)	6名以内	14チーム	
町対抗	1	5(補欠2)	6名以内	11チーム	150名

※監督は選手を兼ねることができる。※補欠選手を必要に応じて登録すること。

(3) 競技方法 市対抗・町対抗ともに肘うち一人合計40発(20発×2回)とし、3選手の合計点で順位を決定する。(椅子にかけ、テーブル上に肘をつき、銃を支える。)

銃を支える腕の角度は、テーブルと肘から手の角度が30度以上あること。

本戦成績(40発合計)上位10名により、ファイナル競技を実施する。

最終順位は、本戦の成績に関係なく、ファイナルの得点により順位を決定する。

記点手(選手の得点記録)は、競技の終了した選手、またはそのチームの監督が務める。

記点手記録は、プリンター(成績出力)の故障時に採用するため、通常はプリンターの記録を優先する。

(4) 規定 (公社)日本ライフル射撃協会競技規則及びローカルルールを併用する。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生ライフル射撃連盟)の登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の競技開始30分前までの変更は認める。

(7) 表彰 ア 市対抗・町対抗とともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム全員の氏名を記載した賞状を1枚授与する。

ウ 個人総合1位から10位までに賞状を授与する。

(8) その他 ビームライフル銃及び器具等は、県北体育館又は県ライフル射撃協会で準備するので、選手は運動可能な服装と体育館用運動靴を必ず履いて参加すること。

ただし、各市町所有の銃及び個人所有の銃の使用は認める。

グラウンド・ゴルフプレー実施要項

(1) 日程及び会場

期日	日程	会場
10月24日(日)	集合 8時50分 開始式 9時00分 プレー開始 9時30分	真岡市鬼怒自然公園芝生広場

※ 10月24日(日)が荒天の場合は、中止する。

(2) 編成及び参加人員

区分	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	10名	10名以内(内男5名女5名以内)	14チーム	250名
町対抗	10名	10名以内(内男5名女5名以内)	11チーム	

ア チームは、10名のプレーヤー(男・女各5名以内)で構成する。うち1名を代表者とする。

イ チームは、組リーダーを2名選出する。(代表者を兼ねることができる)

(3) プレー方法

ア 市対抗・町対抗ともに8ホール×4ラウンドを行い、上位の男・女3名の合計打数の合計打数の少ないチームを上位とする。

イ 打数が同じ場合は、チームの最少合計打数の少ないプレーヤーを比較し、より少ないプレーヤーがいるチームを上位とする。それでも同じ場合は次の最少打数のプレーヤーを比較する。以下同じ方法による。全員が全く同じ場合は、代表者によるプレーオフを1ホール30m(ニアピン)により行い、決定する。

(4) 規定

ア プレーは公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会ルールを適用する。

イ 組リーダーは、組を取りまとめてプレーを進めることとする。

ウ チームの服装については、特に定めない。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなしう出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日のプレー開始30分前までの変更は認める。※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表彰

ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、団体総合第1位から第3位までに賞状を授与する。

ウ 市対抗・町対抗ともに、個人表彰として男女別に合計打数の少ないプレーヤー第1位から第3位までに賞状を授与する。(総合成績への反映は、団体総合の成績のみとする。)

(8) その他

ア 用具(ボール、クラブ)は各自持参し日本グラウンド・ゴルフ協会の認定品を使用すること。

ただしホールポスト・スタートマットは栃木県グラウンド・ゴルフ協会で用意する。

イ マーカー・筆記用具・雨具・名札は各自持参のこと。

ウ 組合せ表は、栃木県グラウンド・ゴルフ協会が作成する。

ホッケー競技実施要項

- (1) 期　　日　　令和3年10月17日（日）
集　　合8時00分　　開　始　式8時30分　　競技開始9時00分
- (2) 会　　場　　今市青少年スポーツセンターホッケー場　人工芝競技場
- (3) 編　　成　　監督1、選手12名以内とする。
- (4) 参加資格　　スポーツ傷害保険に加入している一般社会人
※小・中・高校生は出場できません。
ただし、定時制・通信制高校生・各種専門学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
- (5) 競技方法　　ア　競技時間は15分ハーフ（休憩5分）とし、延長は全試合を通じ実施しない。
イ　リーグ戦において上位決定方法は　①勝点制（勝3・分1・負け0）
　　②勝利数③総得失点差、④総得点数、⑤当該チーム同士の対戦成績、
　　⑥S O 戦の順とする。
ウ　クラブ対抗戦とする。（6人制）
エ　（公社）日本ホッケー協会2020年度6人制競技規則を準用する。
オ　ヒットは禁止とする。
- (6) 参加料　　一人200円（チームでとりまとめて申込書と併せて納入する）
- (7) 申込み先　　〒321-1292　日光市今市本町1番地
栃木県ホッケー協会事務局（日光市教育委員会事務局スポーツ振興課内）
あてに、郵送もしくはメール（tochigi.hockey@gmail.com）にて申込み。
- (8) 申込み締切　令和3年9月2日（木）【期限厳守】
- (9) 抽選会及び代表者会議
令和3年10月8日（金）18時30分～
日光市役所　東庁舎3階　第3・4会議室
- (10) そ　の　他　各市町スポーツ協会が参加チームおよび関係選手を把握するため、
参加チームの申込み状況を報告することがあります。
- (11) 問合せ先　　栃木県ホッケー協会事務局（日光市教育委員会事務局スポーツ振興課内）
〒321-1292　日光市今市本町1番地
TEL：080-2368-5535
メール：tochigi.hockey@gmail.com　担当：大嶋・山岸

ハンドボール競技実施要項

- (1) 期日 令和3年10月17日(日)
集合 9時00分 開始式 9時20分 競技開始 9時30分
- (2) 会場 日立栃木体育館
- (3) 編成 監督1、選手15名以内とする。
- (4) 競技方法 ア 競技時間は20分ハーフとし、延長は第1延長までとする。
(7m・T・Cで決定する。)
イ クラブ対抗競技とする。
ウ 令和3年度日本ハンドボール協会競技規則による。
- (5) 参加料 一人200円(チームでとりまとめて申込書と併せて納入する)
- (6) 申込み先 〒328-0075 栃木市箱森町 29-25
栃木県ハンドボール協会事務局 TEL 090-8804-6754
FAX 0282-25-2336
新井 恵美 あて
- (7) 申込締切 令和3年9月3日(金) 12時00分 期限厳守
- (8) 抽選会 令和3年9月4日(土) 13時00分~
- (9) その他 各市町スポーツ協会が参加チームおよび関係選手を把握するめ、
参加チームの申込み状況を報告することがあります。
参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

ラグビーフットボール競技実施要項

(1) 期　　日　　令和3年10月24日（日）

集合および開始式 9時00分 競技開始 9時30分

(2) 会　　場　　県総合運動公園ラグビー場

(3) 編　　成　　ア 監督、選手を含め11名以内とする。

イ 令和3年度栃木県ラグビーフットボール協会の登録選手とする。

(4) 競技方法　　ア ラグビーフットボール7人制競技とする。

イ トーナメント戦とする。

ウ 令和3年度日本ラグビーフットボール協会規定の競技規則による。

エ 競技時間は7分ハーフとする。

オ 敗者戦も行う。

(5) 参加料　　一人200円（チームでとりまとめて申込書と併せて納入する）

(6) 申込み先　　〒321-4104 益子町大沢290

　　栃木県ラグビーフットボール協会

　　理事長 菊地 力 あて

　　TEL 090-3098-3230

(7) 申込締切　　令和3年9月2日（木） 期限厳守

(8) その他の　　参加チームは、各市町体育・スポーツ協会が関係選手を把握したいので、参加の旨連絡をとり出場願います。

編成は、選抜・単独どちらでもよい。

参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

空手道競技実施要項

- (1) 期日 令和3年10月17日(日)
集合 8時30分 開始式 9時30分 競技開始 9時45分
- (2) 会場 県立県南体育館(剣道場)
小山市外城371番地1 電話0285-21-0021
- (3) 編成 自由組手の部、各都市複数チームの出場を認める。
監督1、選手3(先鋒・中堅・大将)、補欠2とする。
- (4) 競技方法 トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- (5) 規定 (公財)全日本空手道連盟競技・審判規定による。
選手は、全空連検定品の安全具(メンバー、拳サード、ボディプロテクター、フェルカップ、シンガード・インステップガードの5点)を着用しなければならない。
新型コロナウイルス感染症の対策のためメンバー用マウスシールドを着用すること。
- (6) 参加料 一人200円
(都市町空手道連盟でとりまとめのうえ、栃木県空手道連盟HP掲載の参加申込み書に振込先に納入する。)
- (7) 参加資格 小・中・高校生は出場できない。短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
- (8) 申込み先 〒322-0049
鹿沼市花岡町180-1(鹿沼商工高校内)
栃木県空手道連盟 事務局次長 佐藤 誠 あて
TEL 080-5689-9145
E-MAIL satoh-m06@tochigi-edu.jp
- (9) 申込み締切 令和3年9月3日(金) 期限厳守
- (10) その他 参加チームは、各市町体育・スポーツ協会が関係選手を把握したいので、参加の旨連絡をとり出場願います。
参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

銃剣道競技実施要項

- (1) 期日 令和3年10月24日(日)
- 集合 8時00分(役員等) 開始式9時45分 競技開始10時00分
- 大会当日 9時30分から審判監督会議を行う。(審判部長の指示による)
- (2) 会場 ユウケイ武道館 第一道場
- (3) 選手 参加資格は、住民登録をしている市町から出場すること。
- ア 団体戦：監督1・選手3・補欠1で編成し、何チームでも参加可。
(監督は兼務することができる)
- イ 個人戦：男子60才以上の部、女子の部
- (4) 試合の種別 (細部については、参加チーム数及び参加者数により決定する。)
- ア 団体戦：リーグ戦をし、上位2チームによるトーナメント戦により、優勝・準優勝・第3位2チームを決定する。
- イ 個人戦：リーグ戦とし、優勝・準優勝・第3位2名を決定する。
- (5) 大会規則
- ア 試合要領：団体戦の試合は、全て3本勝負、試合時間3分、勝負が決しない場合は判定とする。
- チームの勝負はチームの勝数、総勝者数、総勝本数の多いチーム順とする。
- イ 審判規則
- i 審判員は全日本銃剣道連盟指定審判員有資格者か審判部長が指名した者とする。
- ii 本大会規則及び銃剣道試合・審判規則及び細則に従い、勝敗を決定する。
- iii 審判員の構成は、主審1・副審2をもって組織する。
- (6) 参加料 一人200円
- (7) 申込み締切
選手の申込みは1部を令和3年9月3日(金)までに下記あて申込書を提出のこと。
- 〒321-0132 栃木県宇都宮市雀の宮7-19-7 福田浩之 方
栃木県銃剣道連盟 事務局 宛 TEL(FAX) 028-655-0796
- なお、団体戦の選手に変更が生じたチームは、申込書を用い大会当日審判監督会議時に提出し承認を受けること。
- (8) 注意事項 試合の服装は、袴上下等を着用し、運動靴の使用は認めない。各選手は、努めてスポーツ傷害保険等に加入するものとする。